

平成22年産水稻の8月15日現在における生育状況 (兵庫県)

生育の良否は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況等を総合して8月15日現在における稲体の生育状態を表したもので、作柄を予測したものではない。

【調査結果の概要】

水稻の8月15日現在の生育は「平年並み」である。

図 水稻作柄表示地帯

第1表 8月15日現在の生育状況(平年比較)

区分	生育の良否 (平年比較)	草丈の長短	茎数の多少
		(平年比較)	(平年比較)
県計	平年並み	やや長い	やや少ない
県南	平年並み	やや長い	やや少ない
県北	平年並み	やや長い	やや少ない
淡路	平年並み	やや長い	やや少ない



【解説】

1 生育状況

県南、県北では、5月中旬から6月始めにかけて低温で経過したことから活着がやや悪くなった。また、梅雨期の降水量が平年に比べ多く、日照時間が少なかったことから生育が抑制され、分けつが緩慢で茎数はやや少なく、草丈はやや長くなった。

淡路では、田植え後曇雨天の日が多く、日照時間が少なくなったことから分けつが緩慢となり、茎数はやや少なく、草丈はやや長くなった。

全般的には、梅雨明け以降は、高温、多照で推移していることから、生育は回復傾向である。

2 被害状況

気象被害については、一部地域に雷雨等による倒伏が見られる程度である。病害については、いもち病、紋枯病ともに現時点での発生は軽微である。出穂後も高温状態が続いていることから、高温障害等の発生が懸念される。

第2表 8月15日現在の出穂状況及び田植期

区分	田植期				出穂期				出穂面積割合	対平年差
	始期	最盛期	終期	最盛期の遅速 (対平年)	始期	最盛期	終期	最盛期の遅速 (対平年)		
県計	5月11日	6月3日	6月14日	1日遅い	7月30日	8月12日	…	1日早い	66	6
県南	5月8日	6月4日	6月17日	2日遅い	7月30日	8月13日	…	1日早い	63	8
県北	5月7日	5月16日	5月22日	平年並み	7月23日	8月3日	8月8日	1日早い	100	0
淡路	5月29日	6月18日	6月25日	1日遅い	8月8日	…	…	…	40	△2

- 注：1 田植期及び出穂期の始期は田植え済み（出穂済み）面積割合が5%、最盛期は同50%、終期は同95%にそれぞれ達した期日である。
- 2 出穂期の「…」は、その期日に達していないことを示す。
- 3 対平年差の「△」は、平年より少ないことを示す。

【利用上の注意】

8月15日現在では、早期栽培等は作況指数を、早場地帯は文字情報による作柄を、また、遅場地帯は生育の良否を発表しており、兵庫県は遅場地帯に該当する。

この統計調査結果については、以下のアドレスからご覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/kinki/toukei/mn/sakutuke/index.html> 】

問い合わせ先

◎本統計調査結果について
 近畿農政局 兵庫農政事務所 統計部 生産流通消費統計課
 電話：078(331)5924(直通)

◎農林水産統計全般について
 近畿農政局 兵庫農政事務所 統計部 統計企画課
 電話：078(331)5921(直通)